

再評価結果（平成25年度事業継続箇所）

担当課：道路局環境安全課

担当課長名：増田 博行

事業名	地域高規格道路 南薩縦貫道 主要地方道 頴娃川辺線（知覧道路）		事業区分	地方道	事業主体	鹿児島県
起終点	自：鹿児島県南九州市川辺町野崎 至：鹿児島県南九州市知覧町西元				延長	5.7 km
事業概要						
主要地方道頴娃川辺線 知覧道路は、薩摩半島を縦断し、同半島の骨格をなす地域高規格道路「南薩縦貫道」の一部を構成する重要な路線であり、枕崎漁港の水産物をはじめ南薩地域の農水産物の市場拡大に寄与するとともに、鹿児島市との交流・連携の促進を図るものである。						
平成20年度事業化	平成19年度都市計画決定（平成19年度変更）		平成22年度用地着手	平成23年度工事着手		
全体事業費	9.5 億円	事業進捗率	59%	供用済延長	0 km	
計画交通量	8,600～11,200台/日					
費用対効果分析結果	B/C（事業全体）	総費用（残事業）/（全体事業） 70 / 87 億円		総便益（残事業）/（全体事業） 299 / 299 億円		基準年 平成24年
	（残事業）	事業費：68/85 億円 維持管理費：2/2 億円	走行時間短縮便益：235/235 億円 走行経費減少便益：39/39 億円 交通事故減少便益：25/25 億円			
感度分析の結果						
（全体事業）交通量：B/C= 3.8 ～ 3.0（交通量 ±10%） 事業費：B/C= 3.1 ～ 3.8（事業費 ±10%） 事業期間：B/C= 3.4 ～ 3.4（事業期間±20%） （残事業）交通量：B/C= 4.7 ～ 3.8（交通量 ±10%） 事業費：B/C= 3.9 ～ 4.7（事業費 ±10%） 事業期間：B/C= 4.2 ～ 4.3（事業期間±20%）						
事業の効果等						
<ul style="list-style-type: none"> ・広域交通ネットワークの構築（整備区間指定 南九州市川辺町～同市知覧町間 H21.3.13 6km） ・物流効率化の支援（枕崎のカツオなど農水産物の流通の利便性の向上が見込まれる） ・円滑なモビリティの確保（鹿児島空港へのアクセス向上が見込まれる 枕崎市→鹿児島空港 約20分短縮） ・安全で安心できるくらしの確保（三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる 枕崎市→鹿児島市立病院 約20分短縮） 						
関係する地方公共団体等の意見						
<ul style="list-style-type: none"> ・南九州市などで沿線自治体で構成される「南薩縦貫道路建設期成同盟会」等より整備促進を要望されている。 						
事業評価監視委員会の意見						
<ul style="list-style-type: none"> ・事業を継続することが妥当である。 ・鹿児島県知事の方針：委員会の意見を受け、事業継続とした。 						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年12月1日に頴娃町、知覧町、川辺町が合併し「南九州市」となる。 						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
<ul style="list-style-type: none"> ・用地買収については、64%完了。現在、用地買収及び改良工事を推進中。 						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
<ul style="list-style-type: none"> ・事業規模が大きいため事業期間を要する事業であり、概ね計画どおり進捗している。 						
施設の構造や工法の変更等						
<ul style="list-style-type: none"> ・一部を自動車専用道路から一般道路に構造を見直し、平面交差とすることでコスト縮減を図った。 ・コンクリート二次製品や再生材等の利用などコスト縮減を図っている。 						
対応方針			事業継続			
対応方針決定の理由						
<ul style="list-style-type: none"> ・以上の事業効果及びコスト縮減等の内容、事業評価監視委員会における審議、知事の方針を踏まえると事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。 						
事業概要図						

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。